

第1回ピアザ淡海あり方検討会議 議事概要

1 日時

令和元年8月23日（金）9:30～11:00

2 場所

自治研修センター 研修室1（ピアザ淡海5階）

3 出席委員

滋賀県 : 西嶋栄治副知事

地方職員共済組合滋賀県支部 : 江島宏治副支部長（滋賀県総務部長）

滋賀県市町村職員共済組合 : 小椋正清理事長（東近江市長）

（公財）滋賀県市町村振興協会 : 小椋正清理事長（東近江市長）

4 次第

(1)開会

- ・委員自己紹介
- ・監事の選出（→（公財）滋賀県市町村振興協会小椋理事長）

(2)議事

- ①ピアザ淡海の現状
- ②ピアザ淡海のあり方検討の進め方（スケジュール）
- ③ピアザ淡海のあり方についての意見交換（※非公開）

(3)閉会

5 議事内容（議題①、②）

(1)事務局説明

- ・ピアザ淡海の現状
- ・ピアザ淡海のあり方検討の進め方（スケジュール）

(2)説明をもとにした各委員の意見（・委員意見、事務局回答→）

- ・施設ごとの現状分析を詳細に行いしっかりと課題を捉えて検討する必要がある。

→ 各施設の課題に老朽化への対応を加えて、全体的に検討していきたい。

- ・ いつまでに検討を終わらなければいけないのか。

→ 来年の7月までに利活用方針を所有4団体で合意することが最終的なデッドラインである。合意に向けて、今後マーケットサウンディングを実施し、その結果を基に検討を進め、利活用方針をとりまとめていきたい。

- ・ 例えばホテルのフロントが奥にあるなど、利用者にとってわかりづらい動線となっている。施設の配置についても検討すべきである。

- ・ それぞれの導線があり、ある意味で中途半端であるということは分かる。全体を検討する中で課題の一つになってくると思う。

- ・ ホテルについては、県が経営体制を強化し、また、ホテル所在地の大津市長にも利活用を呼びかけたところ、応じてもらい大津市の利用は非常に増えている。このように我々の共済施設を我々で支えようという意識で県・市町総ぐるみでやっていけば経営はうまくいくと思う。採算が合わないからつぶせだけでは駄目だ。

- ・ 立派なホールがあるが、良いものなのでもっと使わないともったいない。

6 議事要録（議題③）

ピアザ淡海のあり方について、意見交換を実施。

○検討の進め方についてのまとめ

- ・ 意見交換で個別施設の実態や特徴がよくわかった。
- ・ 現行の事業スキームでの効率化に民間活力の活用等を加えた選択肢で、予断を持たず全体を見て検討を進めていく。
- ・ 民間活力の活用の検討にあたっては、マーケットサウンディングを実施して民間の柔軟な提案を募っていく。